

■ 環境経営(マネジメント) 取り組み状況・実績

環境マネジメント

2025目標

主な取り組み実績

連結環境マネジメントの推進	<ul style="list-style-type: none">● 各国、各地域の環境法令遵守とリスク未然防止活動の徹底 <hr/> <ul style="list-style-type: none">● グローバルな製品化学物質管理の充実	<ul style="list-style-type: none">● トップマネジメントの強化のために、「連結子会社生産環境委員会」を設置 環境リスクの未然防止活動や環境負荷削減の取り組みを推進し、環境異常、苦情は発生ゼロを達成 <hr/> <ul style="list-style-type: none">● 各国規制物質の確認および代替材への切り替え対応を継続実施
仕入先と連携した環境活動の推進	<ul style="list-style-type: none">● 仕入先における遵法対応と当社へ納入される部品、原材料等に含まれる環境負荷物質の管理充実および自主的な環境パフォーマンス向上活動の要請	<ul style="list-style-type: none">● 「トヨタ車体グループ グリーン調達ガイドライン」に基づき、化学物質管理、環境法令の遵守 環境負荷削減や生物多様性への配慮を依頼し、仕入先と一体となって活動を推進
環境教育の充実と推進	<ul style="list-style-type: none">● 従業員教育の充実 <p><自社> 階層別、海外赴任者等への教育の実施</p> <p><連結> 各国毎の実情に合わせた環境教育の実施</p>	<ul style="list-style-type: none">● 環境月間(6月)、省エネ月間(7月,2月)を設定し、国内外子会社を含む従業員への環境啓発(講演会など)を実施 <ul style="list-style-type: none">● 新入社員や新任職制を対象にした環境教育を実施
環境情報の開示とコミュニケーションの充実	<ul style="list-style-type: none">● 環境保全取り組み結果、内容の継続開示 <ul style="list-style-type: none">● 地域社会とのコミュニケーションの充実	<ul style="list-style-type: none">● ホームページへの環境取り組み内容、結果の情報掲載 <ul style="list-style-type: none">● 各工場毎に「地域懇談会」の実施

■ 環境経営(マネジメント) 取り組み状況・実績

環境会計

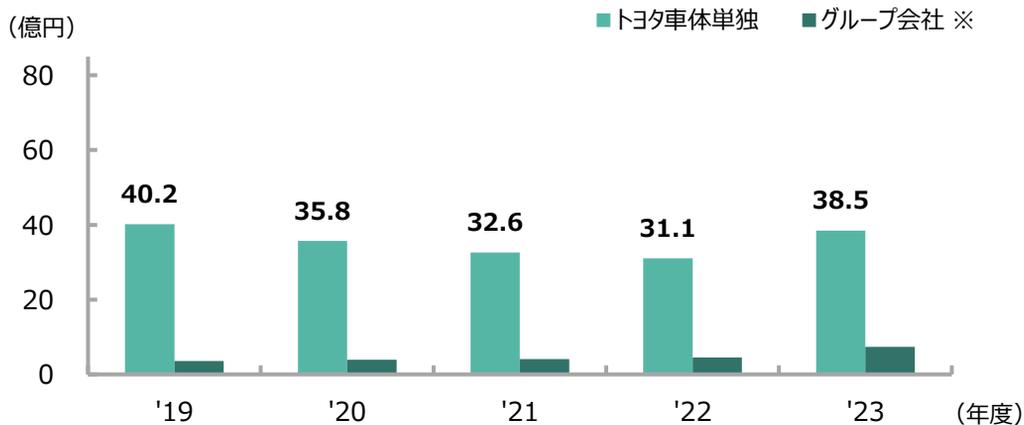
トヨタ車体は、環境保全活動のより効率的な推進に向け、環境省のガイドラインに沿った集計を実施しています。2023年度の環境コスト総額は前年度比で24%の増加となりました。

● 2023年度環境コスト集計結果

(単位：百万円)

		投資	費用
事業エリア内コスト	公害防止コスト	153	265
	地球環境保全コスト	1,492	270
	資源循環コスト	9	310
上・下流コスト		0	16
管理活動コスト		0	766
研究開発コスト		0	560
社会活動コスト		0	4
環境損傷対応コスト		0	2
合計		1,654	2,193
		3,847	

環境コスト推移



※ 国内外グループ会社……国内：東海特装車、トヨタ車体精工、エース産業、東海部品工業、岐阜車体工業
海外：春翔欣業（台湾）、スギティクリエーティブス（インドネシア）

■ 環境経営(マネジメント) 取り組み状況・実績

環境情報の積極的開示と双方向コミュニケーション

トヨタ車体の環境活動をより多くのステークホルダーにご理解いただくため、当社ホームページを通じて環境諸情報を積極的に開示するとともに、各工場ごとに「地域懇談会」を定期的に開催し、環境問題等についての意見交換を行っています。

● 環境異常等への対応

2023年度の環境事故等はありませんでした。各工場で漏洩防止等の未然防止の取り組みを推進しています。

2023年度 環境事故等発生件数

	富士松 刈谷	いなべ	吉原
事故	0	0	0
違反	0	0	0
苦情	0	0	0

● 地下水管理

自主的に地下水水質の調査を実施しています。外部からの流入と思われる、当社での使用履歴のない物質が検出されていますが、その結果は行政、地域の方々にも説明、報告しています。

2023年度 地下水測定値 (富士松工場) ※1

	環境基準	測定値
テトラクロロエチレン	0.010	0.011
四塩化炭素	0.002	0.0016

※1 その他の工場については環境基準未達です

● PRTR対象物質 (PRTR法)

大気へ排出するPRTR対象物質は、塗装工程で使用される塗料および洗浄シンナーに含まれるキシレン、トルエン等が大半を占めています。塗料の水性化や洗浄シンナーの回収率向上を計画的に進めて効果を上げています。

2023年度 PRTR対象物質取扱量・排出量

	取扱量	排出量・移動量
PRTR対象物質	2,578	948

● 環境マネジメントシステム監査・審査

環境マネジメントシステムの維持と継続的改善を目的とした内部環境監査および外部審査を定期的に実施、受審しています。指摘された項目については確実に是正処置をとると共に、他工場への横展開を図っています。

2023環境監査・審査指摘件数

		富士松 刈谷	いなべ	吉原 寿
内部監査	不適合	0	0	0
	改善・要望事項	2	2	2
	優良事項	3	4	4
外部審査	不適合	0	0	0
	観察事項	3	3	3

<2023年度外部審査受審状況>

- 富士松・刈谷工場 : サーベイランス審査 (11月)
- いなべ工場 : サーベイランス審査 (10月)
- 吉原工場・寿新規開発センター : サーベイランス審査 (12月)